

「第6回 旧RD最終処分場跡地利用協議会」の議事要録

日時：令和7年11月18日（火曜日） 21：00～21：40

場所：栗東市総合福祉保健センター（なごやかセンター）集会室

出席者：（滋賀県） 中村琵琶湖環境部長、中村参与、小川最終処分場特別対策室長、川端副主幹、外村主査、大屋主査、瀧川主事、千代主任主事、コンサル2名

（栗東市） 上山副市長、岩松環境経済部長、西川環境政策課長、川端課長補佐、石津主事

（自治会） 赤坂、小野、上向、北尾団地、日吉が丘、栗東ニューハイツ、中浮気団地 から 計17名

（県議会議員） 1名

（市議会議員） なし

（傍聴） 1名

（報道機関） なし

（出席者数 34名）

1 旧RD最終処分場周辺における地域開発の状況等について（栗東市）

栗東市から資料1を説明

- ・健康運動公園整備：マーケットサウンディング調査を実施し具体的な意見を収集しており、令和8年3月末に結果を公表予定。
- ・火葬場整備：令和7年5月に事業契約締結、7月から造成・設計に着手。令和8年8月ごろ建築工事開始し、令和10年3月中の供用開始予定。
- ・環境センター施設整備事業：ごみ処理施設整備基本計画の見直し結果に基づいて、基幹的設備改良工事による延命化の実施を決定し、長寿命化総合計画を令和7年10月に策定して、事業者選定に向けた取り組みを実施中。
- ・周辺の民間開発等についても説明
- ・旧RD最終処分場跡地に隣接する小野南部・上砥山工業団地地区については、栗東市から隣接としての相談協力をお願いしており、できうる範囲での協力はいただけることで承諾をいただいている。

2 事例紹介について

県から資料2を説明、東京都町田市「忠生（ただお）スポーツ公園」の特徴である、バスケットボール、遊具の事例中心に紹介。

3 これまでの事例を振り返って（フリートーク）

県から資料3にてこれまでの内容を振り返ったうえで、各自治会から意見をいただきました。

（主な意見）

- （1）跡地単体ではなく、「周辺一体のエリアマネジメント」を考えて計画してほしい。
- （2）周辺住宅への配慮（におい・砂塵・ボール等の飛散防止）
- （3）憩いの場としての公園を希望。子どもが無料で安心して遊べる遊具・芝生・周回園路・日陰の確保してほしい。
- （4）若年層が楽しめるスポーツ施設（3on3、テニス、フットサル等）を設置してほしい。
- （5）地域が集える場づくり、継続的な維持管理を見据えた計画してほしい、その際には民間活力の活用も検討してほしい。
- （6）暑熱対策としての緑陰は必須。制約で大木の植栽は難しいなら、日除け設備等の代替策を講じてほしい。
- （7）安全対策（安定化プロセス）への懸念と説明を住民に分かりやすく説明してほしい。

4 その他

（栗東市からの補足）

- ・健康運動公園については、まずは子供たちが遊べるような公園を令和11年に先行開園し、令和14年に本開園を目指している。
- ・馬の導入構想については財源の確保の観点から、日本中央競馬会と民間活力活用を活かしながら進める方向で、現在は設計中・構想の段階。